

1 動機

VSCode の拡張機能である、“HyperSnips” をインストールし、「動的スニペットは便利だなあ」と感激していた。しかし、各言語ごとの動的スニペットが.hsnips という独自の拡張子になっており、このファイルを編集するためのコード補完に不満があった。(例えば、global と endglobal がセットで出てこないなど)

各言語ごと、拡張子ごとのスニペットは manage»snippets を開いて選択するようになっており、独自言語やサポートされていない拡張子に対しては”言語名”.json を上手く作成できない。

今後も VSCode がサポートしていない拡張子を持つファイルを快適に編集したいと思うことは想像に難くない。今回、上手くいく方法を見つけたので書き残しておきたい。

2 方法

HyperSnips は JavaScript と正規表現を用いて動的スニペットを可能にする拡張機能だ。

そのため、フォルダの構成を見てみると src や.vscode など見慣れたフォルダと同じ階層に package.json というファイルがある。これは自作のシンタックスハイライトやスニペットを作るときに必要なファイルで、language-configuration.json、.tmLanguage.json といった言語の文法が記されたファイルへのパスと一緒に snippet.json ファイルのパスを書く。また、ファイパスの場所に snippet.json ファイルを作成しておく。

正しく設定されていると、.hsnips ファイルのエディタから manage»snippets でスニペットが選択できるようになる。

Listing 1 package.json の一部

```
1  "contributes": {
2    "languages": [{
3      "id": "tyrano",
4      "aliases": ["tyranoscript", "tyrano"],
5      "extensions": [".ks"],
6      "configuration": "./language-configuration.json"
7    },
8    "grammars": [{
9      "language": "tyrano",
10     "scopeName": "source.ks",
11     "path": "./syntaxes/tyrano.tmLanguage.json"
12   }],
13  "snippets": [
14    {
15      "language": "tyrano",
16      "scopeName": "source.ks",
17      "path": "./snippet/tyrano.snippet.json"
18    }
19  ]
```

参考文献

- [1] vscode で自作のシンタックスハイライト・スニペット拡張機能を作る
<https://qiita.com/OrukRed/items/03f0e38e0f8553ee35d2>
- [2] VSCode でスニペットを作成する
<https://qiita.com/ygsiro/items/b8b9df4e55b51b844f82>